【別紙3】

P-M項目・P-S項目の内容的妥当性評価用紙

この手引きで、あなたの患者さんの重症度やエフォートは、どれくらいうまく評価できましたか。この手引きの各項目が「重症度にもとづく医療・看護等必要度」をどれくらい反映しているか、あなたのご印象をご回答ください。

1. よく反映している
2. ある程度反映している
3. あまり反映していない
4. まったく反映していない

回答者の職種と経験年数	職種： 年

P-M項目		精神科医療ニーズ	0点	1点	内容的妥当性評価			
精神科医療ニーズ	1	精神科的医療を要する混乱			1	2	3	4
	1-1	自傷に関連する混乱（総合評価）	なし	あり	1	2	3	4
	1-1-1	切迫した希死念慮	なし	あり	1	2	3	4
	1-1-2	自殺行動・自傷行為	なし	あり	1	2	3	4
	1-2	他害に関連する混乱（総合評価）	なし	あり	1	2	3	4
	1-2-1	興奮	なし	あり	1	2	3	4
	1-2-2	威嚇的言動	なし	あり	1	2	3	4
	1-2-3	暴力	なし	あり	1	2	3	4
	1-2-4	逸脱・迷惑行為	なし	あり	1	2	3	4
	1-3	食事と排泄に関連する混乱（総合評価）	なし	あり	1	2	3	4
	1-3-1	処置を伴う異食、早食い・つめこみ食い、盗食	なし	あり	1	2	3	4
	1-3-2	多飲症	なし	あり	1	2	3	4
	1-3-3	不潔行為	なし	あり	1	2	3	4
	1-4	身辺処理に関連する混乱（総合評価）	なし	あり	1	2	3	4
	1-4-1	意識障害（せん妄を含む）	なし	あり	1	2	3	4
	1-4-2	拒絶	なし	あり	1	2	3	4
	1-4-3	セルフネグレクト	なし	あり	1	2	3	4
	1-4-4	困惑・昏迷・解離	なし	あり	1	2	3	4
	1-4-5	強迫・不安・儀式的行動、著しいこだわり	なし	あり	1	2	3	4
	1-5	対人関係に関連する混乱（総合評価）	なし	あり	1	2	3	4
	1-5-1	多弁・多動・多訴	なし	あり	1	2	3	4
	1-5-2	著しい対人操作性	なし	あり	1	2	3	4
	1-5-3	著しい脆弱性	なし	あり	1	2	3	4
	2	精神科的病状に対する非経口薬物静穏化	なし	あり	1	2	3	4
	3	精神科身体合併症への対応	なし	あり	1	2	3	4
	4	精神科における専門性の高い医療	なし	あり	1	2	3	4
	4-1	向精神薬の処方の是正	なし	あり	1	2	3	4
	4-2	電気けいれん療法の管理	なし	あり	1	2	3	4
	4-3	クロザピンの管理	なし	あり	1	2	3	4

P-S項目		精神科心理社会支援ニーズ	0点	1点	内容的妥当性評価			
精神科心理社会的支援ニーズ	1	自傷・自殺歴	なし	あり	1	2	3	4
	2	入院前の治療継続	なし	あり	1	2	3	4
	3	入院治療歴	なし	あり	1	2	3	4
	4	入院時に家族も支援者も同伴しなかった	なし	あり	1	2	3	4
	5	自傷・他害を契機とする入院	なし	あり	1	2	3	4
	6	精神科副診断	なし	あり	1	2	3	4
	7	病気や治療の受け入れが乏しい	なし	あり	1	2	3	4
	8	本人が退院や社会復帰に消極的	なし	あり	1	2	3	4
	9	地域生活の維持	なし	あり	1	2	3	4
	10	家族や地域担当者が退院を望まない治療に協力できない	なし	あり	1	2	3	4
	11	日用品や入院費の準備ができないほどの経済的困窮	なし	あり	1	2	3	4
	12	退院後の住居の見通しがない	なし	あり	1	2	3	4

＜評価を担当しての感想 （自由記載）＞